

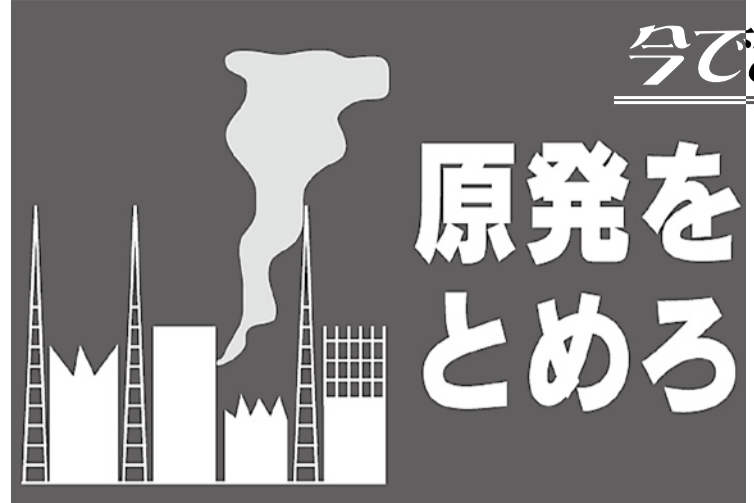


全日本自治労労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

脱原子力発電

今できなくていつできる

福島第一原発の深刻な事故を受けて国内で脱原発の意識が高まっている。世論調査によると、道内では82%の人が「原発の廃炉」を望んでいる。福島第一原発は事故後100日が過ぎても、さまざまな対策は「失敗」の連続で、好転する見込みはない。むしろ最悪の事態に進み住民の命や健康が脅かされている。これは、福島だけの問題ではない、今こそ泊原発の停止はもちろん、現在建設中の青森県・大間原発の建設中止を求める取り組みを強めていく。



「道の防災計画」
このままでは不安
道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

師が、旧土木現業所でも職員を大幅に削減して防災計画を実行できると思えない体制となっている。周辺住民は、これまでにない生活に直結する危険性を感じている。道本部は、第114回中央委員会で「脱原発にむけた決議」を採択した。6月3日、道の原子力防災計画に対して不安を持つ後志管内泊周辺自治体の組合員とともに、計画の見直しやエネルギー政策に対する考え方について道と意見交換した。

JICHIRO スケジュール

7月	
2日(出)	臨時・非常勤等職員連絡会議第18回総会兼第27回全道交流集会(札幌市)
	東日本大震災「自治労復興支援活動」第13グループ派遣(～11日、岩手県宮古市)
	道東三地本女性セミナー(～3日、釧路市)
8日(出)	道消防協研修会(札幌市)
9日(出)	胆振日高空知三地本三評労働者集会(新冠町)
11日(月)	第21回道本部執行委員会(札幌市)
16日(出)	第29回自治労北海道青年部夏期交流集会(～18日、日高町)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

ろうきんサマーキャンペーン2011

2011年7月31日まで

nanoz Jump エクササイズ

ふたつのチャンスで HOTアイテムプレゼント!!

詳しくは、北海道ろうきんホームページで! rokin-hokkaido.or.jp

東日本大震災

自治労「災害特別カンパ」の配分

組合員のみなさまにご協力いただきました「災害特別カンパ」の配分は、5月24日の自治労中央執行委員会で決定されました。

県(自治体)	350,000,000円
県本部	189,000,000円
沿岸地域単組	48,800,000円
合計	587,800,000円

なお、道本部として31,824,962円(6月24日現在)集約しています。最終的な集約日は7月10日(火)です。

東日本大震災復興支援報告(第7〜9グループ)

自治労に「元気」もらった

4月10日から開始した東日本大震災被災地支援行動は、現在北海道から第12グループ(以下II Gとする)を派遣し、7月2日出発の最終第13 Gで総勢150人となる。今回は7 Gから9 Gまでの状況の変化を報告する。

※復興支援活動に対する、皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

炊き出しから、弁当に宮古市では、仮設住宅建設が急ピッチで進められ避難所は縮小しつつあり、今後の避難所のあり方について議論されていた。

必要最低限の衣食住が提供されるが選択余地が



朝は大量のお湯をわかす

7 Gと8 Gの仲間

仮設住宅を訪問

況が激しく、職員はほとんど休日も取れず健康状態も良くない。がれきも放置され復興への道が遠く感じた。7 Gから2人が、罹災証明の発行補助業務で現地職員を支えはじめた。

(第7 G・中野渡智)

宮古の避難所任務終了第4 Gから任務についた、グリーンピアみやこ・宮古第二中学校は、北海道団として今回が最後の配置となった。これまでの活動で、「自治労北海道」の名はかなり浸透し、笑顔で迎えられる。感謝の言葉もいただいた。

避難所の若い男性は、「色んなことがありすぎて精神的にも肉体的にも正常ではなかった。この

私たちが取り巻く情勢は大変厳しい状況ですが、「今何ができるのか」を新入組合員とともに考える、お互いの共通認識のもと課題解決にむけて取り組んでいきます。

震災が自分の生きる上で宿命なら、自治労の方々の出会いは、本当に運命を感じる。会話を通じて元気をもらった。この活動を無駄にすることなく、復興にむけ全力で頑張る」と力強い決意を語ってくれた。

雇用や生活面で将来的不安があっても笑顔で歩む姿に、「生きる大切さと力」を感じた。

私たちが復興支援で見て感じたこと、学んだことを多くの仲間語り継ぎ、今後も自治労北海道の総力を挙げて支援する必要があると実感した。

(第8 G・引地圭太)

新入組合員8人とともに団結

【宗谷地方本部発】6月4日、豊富町職で開催した「新入組合員歓迎会」を報告します。

今年は何年になく8人が加入し、歓迎会には執行委員と青年婦人部員を合わせて30人程が出席しました。



職場だより

前段に労金稚内支店から「ろうきん」と自治労の関わりを題しての講演。秋葉執行委員長が「労働組合の必要性」や「職場での仲間づくり」などについて話した。出席した新入組合員はもちろん、若年層の部員も労働組合

の基本的な内容を再度学び合いました。

学習会終了後は、親睦を深めるため、スポーツレクリエーションを開き、出席者誰もが楽しめるミニバレーで、爽やかな汗を流し団結力が一層強まりました。



レクリエーションの前の学習会で組合員を前に話す秋葉委員長(右)

な不安があっても笑顔で歩む姿に、「生きる大切さと力」を感じた。

私たちが復興支援で見て感じたこと、学んだことを多くの仲間語り継ぎ、今後も自治労北海道の総力を挙げて支援する必要があると実感した。

(第8 G・引地圭太)

方々に衣類の調査票の配布・ごみ収集日の周知など戸別訪問業務を行った。入居者と触れ合うことでそれぞれの意見や要望を聞くことができ、現場担当者で改善要求として提出できた。希望者全

員が入居できないのが現状であった。今回の「仮設住宅関係」については、業務の内容・流れが未整理でスムーズな支援が行

組合員の6月賞与支給額を一方的に約50%引き下げられた日本クリーン北海道労組の団体交渉が6月21日、北海道自治労会館で行われ、北海道環境施設ユニオン松岡副執行委員長、道本部吉田組織拡大部長、当該単組組合員3人が出席した。

組合が賞与の支給根拠を質したところ、会社は就業規則に適用根拠の記載がない支給基準を持ち出し、「支払うことがあり」と書かれているから

★お知らせ シリーズ子ども・子育て新システムはお休みします。

不利な変更ではないと主張。労働者に個別の同意を得ることなく、さらに組合との協議もなく、賞与の一部を不支給とした。組合は、不当労働行為救済申立を労働委員会へ提出することとし、この日の交渉を打ち切った。

また、会社は「業績がよくないから支払われない」と主張。しかし、単年度黒字で2億6千万円の剰余金があることや、冗費の節減が実行していないことを組合が質



てまえが当局側、むかひの左から3人が組合員

おーさかさんの国会だより



177回国会が70日間延長となり、延長幅が短すぎます。国会審議をなるべくさげず会期末を迎える「日程闘争」と呼ばれる駆け引きがあります。これは国民には理解しな法律が成立しています。法成立後

自治体に重要な法律が成立 早速、国と地方の協議の場が6月13日に

難しいことです。私自身も馬鹿げたことだと感じています。こんなことを避け、常に議論ができるよう通年国会にすべきと私は考えています。

残すことができるよう、全力を傾注します。(6月22日東京にて)

6月賞与▲50%で団交

日本クリーン北海道労組

しても、「経営事項は団体交渉では答えない」として、不誠実な交渉を行った。組合は、不当労働行為救済申立を労働委員会へ提出することとし、この日の交渉を打ち切った。

忙中余話

6月で56歳と「災害」として捉えることになった。30年近く、各国で脱原発に向かっていたら、今回の大震災が新たな加わっていった。震災の復興は世代に負の遺産を引き継ぐこと、大人の責任である。現在を生き延びることができるか、原発事故の後遺症は未来永劫に続くこと、原子力人間が制御できないエネルギー。そして、命もいつかあったことが証明された。今回の自然界からは生きてみたいものである。(杉谷光一)

中央委員会答弁

前号の道本部第114回中央委員会特集の方針に対する答弁で、次の2点を掲載していませんでした。本号で掲載します。

臨時・非常勤の取り組みについて、民主党は議連で連携をしている。署名は全国で100万に達した。引き続き11月延長して取り組む。さらなる取り組み強化を願う。国保連合会と支払基金の統合問題は、厚生労働省検討委員会が議論をしている。事態に即し雇用不安をまねかないよう、本部に求めていく。

コンサドーレチケット当選者

第2024号のコンサドーレチケットは、鍋谷利彦さん(松前町職)が当選。